



森口 エミリオ 秀幸 千葉大学客員教授 講演会が開催されました。

千葉大学では、平成31年2月18日に森口 エミリオ 秀幸 ブラジル・リオグランデ・ド・スル連邦大学医学部内科学教授、千葉大学客員教授をお招きし、「ブラジル巡回診療の根拠—医療、絆、奉仕、愛」についての講演会を開催しました。

森口教授は、母方の祖父である細江静雄氏が1930年より開始したブラジル日系永住者巡回診療健診を、第三代目として2007年より行っています。

ブラジルの日系移住者の中にはポルトガル語を話すことができず現地の病院で診察を受けることができない方がたくさんおり、そのような移住者の治療、健康管理、疾患予防を行うべく、毎年夏に3500km以上の距離をバスで移動しながら、地方の無医地区の約400人に対して巡回診療を行います。

2009年度からは横浜市立大学医学部等の学生を引率し、学生にも、血圧指導や心電図測定等の健診実習を行わせておりますが、今後は千葉大学の学生も参加させていただくことが合意されています。

資金不足などの厳しい状況の中でも熱い思いを持って活動を継続されている森口教授の講演に出席者は熱心に聞き入っていました。



ブラジル巡回診療について講演する森口 エミリオ 秀幸 客員教授